

◇現代ビジネス学科 主要科目の特長

科目	特長
ボランティア体験A	地域社会における学生の学外実習としてボランティア体験を重要な学修の1つに位置付けて、地域社会に貢献する心を育み、現代の身近な生活の課題や地域社会問題を理解し、地域社会への参加を目指すことを目的とする。「ボランティア体験A」では、主に教育支援活動や福祉活動のボランティアとして参加し、子ども達、高齢者、障がい者などへの支援活動を通じて、世代別の人々とのコミュニケーションや関わり方、礼儀やマナー等を体験的な学習で学び、対人関係能力を養成する。
語学・異文化体験演習	学生に実際のビジネス現場で使える実践的英語力を身に付けさせるため、1年次から①英語を多用する授業の展開、②英語のみによる専門科目の授業の実施、③海外語学研修の実施など、段階を踏んで英語力の強化を図ることとしており、この授業は、その一つとして位置づけられる。具体的には2年次の夏季休暇時を利用して、海外の提携大学等において、ホームステイ等をしながらか月程度の語学研修を実施し、その後の英語による授業等につなげることを目的とする。
長期インターンシップ	長期インターンシップとして、3ヶ月～半年に渡り原則として週1回・40時間以上の企業実習を行う。より深く企業等の実務を経験し、大学での専門分野の学習とインターンシップによる実践の反復を狙いとする。事前研修では、インターンシップの目的・意義をもとに能力開発目標を設定し、ビジネスマナー、業界研究や企業研究を行う。事後研修では、実習経験についてワークショップを通じて振り返り、今後の進路選択や就職活動への活用を考え、実践的な学修意欲と主体的な職業選択能力の向上を図る。
プロジェクト実践 I	地方公共団体、地元産業界、地域社会、他学部などと連携して、実際に問題を解決して地域活性化を目指すことを目的に、年間を通じてプロジェクトを実施する。この授業では、プロジェクト学習プロセス前半の3プロセスである①テーマ決定・問題発見と明確化、②計画立案、③問題解決策の創出を実施する。特に、問題発見と解決策の創出に主眼をおき、地域における問題を正確に理解し、問題を解決するより多くのアイデアを生み出すことを目的とする。1プロジェクトは10名程度の学生で構成する。
ビジネス英会話 I	ビジネスシーンでの会話力、スピーチ、プレゼンテーションのスキルを高めることを目的とする。具体的には、(1)アポイントメントの取り方、(2)商品・サービスの説明、(3)業務内容の説明、(4)失敗した場合の対処、(5)顧客からの苦情への対応、(6)新商品開発や販売戦略についてのグループワーク、(7)新商品の企画・開発に関するプレゼンテーションと質疑応答などをテーマとした演習を通じて、実践力を鍛える。

◇現代ビジネス学科 主要科目の特長

科目	特長
グローバル経済事情	現代のようなグローバル化の時代においては国際間の取引に関わる様々な問題の理解が不可欠である。本講義ではまず、現代の国際経済を学ぶ上で欠くことのできない歴史的出来事や国際関係について説明する。次に、国際貿易の仕組みと貿易政策の意義、及び国際経済のマクロ的側面理解するために必要な基礎理論を学ぶ。各国はなぜ貿易をするのか、貿易からの利益はどのようなものかといった基本的な内容や、貿易政策の経済効果や国際収支構造の理解を目標とする。
経営学	20世紀以降、世界の経済社会に対して大きな影響を及ぼし続けている大企業に焦点を当て、その仕組みと戦略について解説する。企業と私たちが直接かかわる問題から入り、企業と社会との関わり、企業活動の本質などについて解説する。なお、可能な限り具体的な事例を織り交ぜて講義を進めていきたいと考え、企業に関わる大きなニュースについては、随時、トピックスとして取り上げていきたい。
ミクロ経済 I	ミクロ経済学の基礎理論を学びながら、経済学的考え方を身につけることを目標とする。周知のように、私たちが暮らしている市場経済では、市場メカニズムが重要な役割を演じている。この授業では、部分均衡分析で用いられる基礎的な概念(需要と供給、市場均衡、需要の価格弾力性、費用の諸概念など)を学び、市場の働きについての理解を深める。さらに、企業の価格戦略、政府による生産調整の効果など、現実の経済問題について経済学的に考察する。
マクロ経済 I	本講義では、マクロ経済学の基本的な概念とモデルを学ぶことで、マクロ経済政策を評価する考え方を学んでいく。基本的には、海外との取引のない「国内経済」という簡単なモデルを想定し、財市場・金融市場・労働市場の動きと相互関係を捉えるための基本的なモデル(45度線モデル・IS-LMモデル)と、それらのモデルにおける財政・金融政策の役割と効果について学んでいく。日々の経済ニュースにおけるマクロ経済政策について、これらのモデルの枠組みに照らして考えることができるようになることを目標とする。
地域政策	地域の経済状況は、人口構成・人口動態、産業構造、人々の暮らしを支える諸制度などによって影響される。この授業では、地域経済の成果を測る諸概念(県(もしくは市町村)内総生産とその成長率、就業率、暮らしやすさを測る様々な指標など)と分析視点について学ぶとともに、現在地域社会が直面している問題や地域活性化を阻む要因について考え、地域経済・社会の安定した発展に必要とされる政策について、具体的事例を取り上げ考察する。

◇現代ビジネス学科 主要科目の特長

科目	特長
経済政策	<p>本講義では、経済政策を理論的に分析するための、標準的な経済理論や概念をコンパクトに整理するとともに、日本の経済政策の過去や現在(そして未来)について、それらの理論を応用したときに、どのように評価することができるのかを学んでいく。日本経済の現状と課題を「ミクロ経済Ⅰ・Ⅱ」「マクロ経済Ⅰ・Ⅱ」で学んだ基本理論の視点から理解し、望ましい経済政策が何かについて自分で考えることができる力を身につけることを目的とする。</p>
統計学Ⅰ	<p>社会生活の中で活用されている統計データを紹介し、その有用性と限界を考えることで統計的センスを養成する。データの可視化手法や代表値・標準偏差による要約方法を学ぶことにより、データの概要のつかみ方を学ぶ。さらに、母集団と標本、信頼区間、相関関係を理解し、それらの指標の求め方や活用方法を学ぶことにより、統計手法の基本を身に付ける。授業では、Excelを使って実際にデータ処理を行うことで、知識を定着させ生きた知識へと高めることを目指す。</p>